

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・fax 284-0761

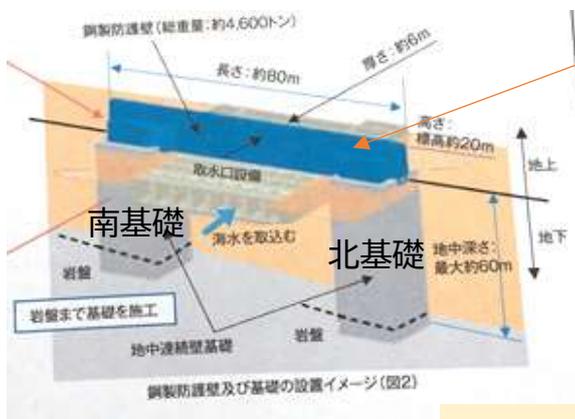
携帯電話 090-3961-8578

E-mail toukai@oona-mieko.info

東海第二原発の取水口防潮堤

基礎部分の施工不良について、原電の説明を聞きました ー議員全員協議会ー

原電の説明は、「防潮堤鋼製防護壁の基礎で発生したコンクリートの未充填と鉄筋の一部変形に係る事象について」のみで、北基礎の鉄筋の高止まりについては無し。

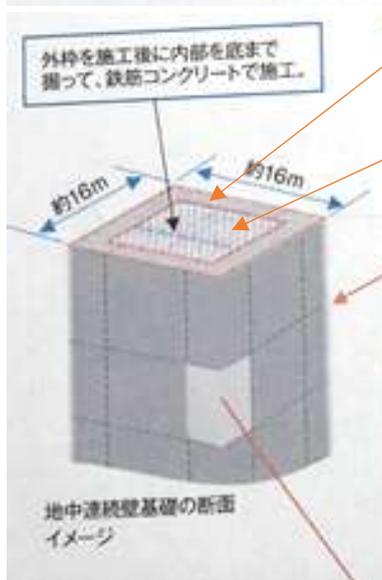


鋼製防護壁(青色の部分)

この壁を作る上で取水口を確保するということから、取水口の北側と南側に縦横 15.5m の柱状の基礎を設ける。

この基礎は、外側に地中連続壁、その内側に中実部という構造で、ここを二段階の工程で作っていく。

今回、中実部の掘削を行ったところ、コンクリートの未到達および鉄筋の変形を確認した。



地中連続壁

中実部

コンクリートの未充填の原因の検討状況

○溝壁が掘削された状態で長期間維持され、その間、掘削機の繰返し荷重や周辺のコンクリートの打設圧による側圧、安定液と地下水位の水位差不足により、溝壁中の粘性土にはらみ出し※2が発生し、コンクリートの充填すべき箇所への閉塞や流路の障害によりコンクリートの未充填が生じた。

○粘性土のはらみ出しが大きくなるにつれてその一部が崩落し、コンクリートの充填すべき箇所への閉塞や流路の障害によりコンクリートの未充填が生じた。



鉄筋の変形等の原因の検討状況

○剛結継手部において、先行エレメントの鉄筋の建込み後に流入した土砂等の撤去作業を行った際に、既に設置していた鉄筋等に土砂等の撤去治具(ハンマーグラブ)が接触し、同鉄筋等を変形させた。

○後行エレメントの鉄筋の建込み時において前記の変形部への対策は施していたものの、対策の一部に隙間があり、そこから当該変形部が後行エレメントの鉄筋に干渉し、先行エレメント及び後行エレメントの水平鉄筋が損傷に至った。また、この干渉により後行エレメントの鉄筋が剛結継手部側に引き寄せられたため、剛結継手部の中実部側の水平鉄筋に変形が生じた。

原電は、北基礎の鉄筋の高止まりについては説明しなかった

告発された方のお話しでは、北基礎には次のような問題があるということでした。

●北 A 基礎が、設計値に(掘削深度)鉄筋が届いてない。

8ブロックで基礎が構成されるため、基礎としての強度が保てない。また、鉄筋の並び(配筋)状況も他の箇所とそろわない。結果 基礎本来の強度が保てない。

この際、鉄筋が先の(先行)何らかの影響で形が変わり 引っ掛かり 引き抜くことも出来ない状況を隠して、安藤間 JV に報告。

本来引き抜き鉄筋の状況を確認しなければならないところ、先行鉄筋と後行鉄筋が絡んだ状況となり、引き上げ、沈設ができなくなってしまう、嘘の報告でコンクリート打設まで持ち込む。

日本共産党が 10 月 19 日、規制庁に行ったヒアリングでは、

●規制庁の担当者は「4 月に鉄筋の高止まりが確認されており、規制庁としても認識している。その上で最終的には是正し、設計通りにやっていただくことが必要」と説明しました。

❖11/8 議員全員協議会で大名は、「高止まり」について質問しました

?? 原電=70 cm高止まりでも強度上も設公認上も問題ない

大名 10 月 16 日に記者クラブに施工不良を説明(公表)した際、北基礎の鉄筋カゴの高止まりについて説明をされたか。「高止まり」の事実の確認、原因、対応、現状を問う。

原電 16 日に公表したのは、あくまでも将来的な工事計画の見直しが必要かもしれないと我々が確認したものについて。日常的なCR(コンディションレポート)の案件については、公表してないという位置付け。

北基礎は 8 個のブロックで構築していて、そのうちのあるブロックで、鉄筋が下まで下がらなかった。ただし、掘削は、計画の高さまで掘っているのを確認して鉄筋を立て込んでいる。鉄筋が予定深度より上のところで止まってしまったのは、先に入れた鉄筋の時に何らかの部分でちょっと引っかかってしまって、下までおりなかったというような状況。

ただし、そこは限定的で、コンクリートについては予定の深度まで打っていることと、一部高止まりの影響はないということ、構造上確認している。その確認をもって次工程に進めている。この基礎に求められていることは岩着していること。70 センチ高いけれども、十分岩盤に到達している。

鉄筋の高さについては、強度的に、いわゆる設工認で必要な条件ではないので、我々そういったところを確認し、強度評価もした上で問題ない。「言わなかった、隠している」ということは一切ない。

大名 このような重大案件は、住民、地元自治体、議会にはいち早く説明することが大事。信頼関係に関わる。コンディションレポートも議会としても確認したい。

原電 信頼関係という点では全くその通り。